

図書館だより

1月号

熊野川中学校 図書館 2021.1. 8発行

あけましておめでとうございます。

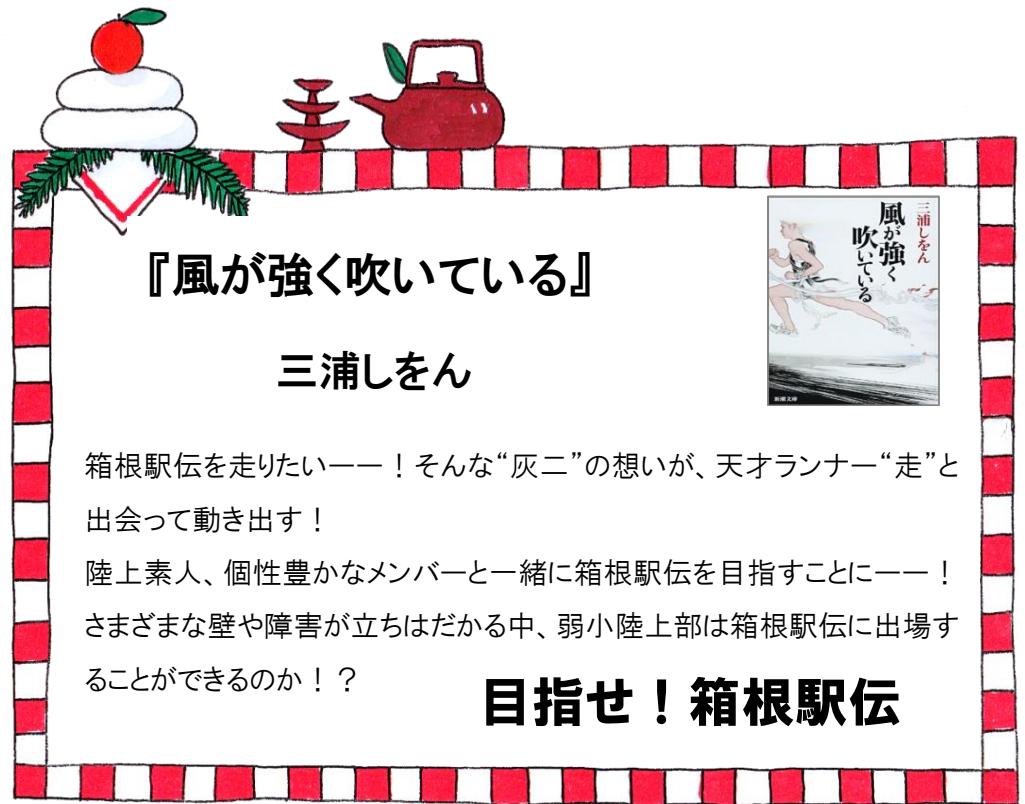
お正月を迎え、新しい年が始まりました。
気持ちも新たに、良い1年になりますように。

そして、みんなにすてきな本
との出会いがありますように。
今年もよろしくお祈いします。



司書来校予定

14日(木)
21日(木)
29日(金)



『風が強く吹いている』

三浦しをん



箱根駅伝を走りたい——！そんな“灰二”の想いが、天才ランナー“走”と
出会って動き出す！
陸上素人、個性豊かなメンバーと一緒に箱根駅伝を目指すことに——！
さまざまな壁や障害が立ちはだかる中、弱小陸上部は箱根駅伝に出場す
ることができるのか！？

目指せ！箱根駅伝

先月の 校内読書週間



2週間で**38冊**の貸出がありました！

本を借りてくれた皆さんありがとうございました。



“和”を楽しむ

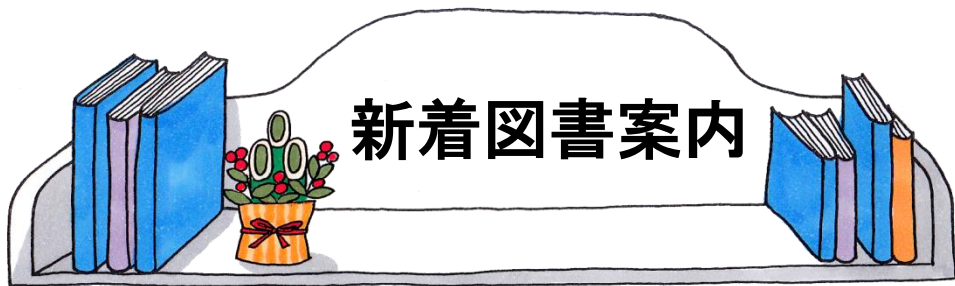
お正月や日本の伝統文化に
関する本を展示しています。



心があったかく なる本特集

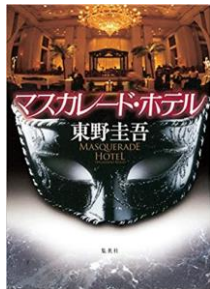


さむ〜い冬こそ、心があったかくな
る本いかがですか？



新着図書案内

『マスカレード・ホテル』 東野圭吾



都内で起きた不可解な連続殺人事件。次の犯行現場は、超一流ホテル・コルテシア東京ということが判明…！若き刑事新田浩介はホテルマンに化けて潜入捜査へ！彼を教育するのは女性フロントクラークの山岸尚美。次から次へと怪しげな客たちが訪れる中、二人は真相にたどり着けるのか――！？

完璧に化ける！決して見破られるな！！

『阪急電車』 有川浩



隣に座った女性は、よく行く図書館で見かけるあの人だった…。片道わずか 15 分のローカル線で起きる小さな奇跡の数々。乗り合わせただけの乗客の人生が少しずつ交差し、やがて希望の物語が紡がれる。人数分のドラマを乗せた電車はどこまでもは続かない線路を走っていく…。ほっこり胸キュンの傑作長篇小説。

『アウシュヴィッツの図書係』

アントニオ・G・イトウルベエ

読書は絶望の中の希望。



1944 年、アウシュヴィッツ強制収容所内には、8 冊だけの秘密の“図書館”がある。図書係に任命されたのは、14 歳の少女ディタ。その仕事は、本の所持を禁じられているなか、ナチスに見つからないよう日々隠し持つという危険なもの…。 実話に基づく、感動の物語



『からだ事件簿 たのしくわかる！体のしくみ』

澤田憲

“勝手にグーグーなるおなか…”
“勉強したはずなのに、無くなる記憶…”
一見、ささいな悩みに見えますが、じつは、体の中では“事件”が起きているのです――。

その事件の真相、からだ探偵がズバリ解き明かします！



『クジラのおなかからプラスチック』

保坂直紀

まったなし！！ このままでは2050年に海の魚の重量を上回るともいわれているプラスチックごみ。

その実態は？人体への影響は？日本はどう動いているのか？いま、世界がもっとも注目する環境問題がよくわかる！

そ の 他

『チョコレート・アンダーグラウンド』



『目でみることば』



『はたらく細胞⑤』



リ ク エ ス ト

『15歳のテロリスト』



『小説 言の葉の庭』



『あの夏を生きた君へ』

